

平成 31 年度 国語科

教科	国語	科目	現代文 B	単位数	3 単位	年次	2 年次
使用教科書	新編現代文 B (東京書籍)						
副教材等	常用漢字ダブルクリア三訂版 (尚文出版)、アドバンス現代文① (京都書房)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

以下の四点を大事にし、現代の評論、文学作品を学びましょう。

- 1、現代社会における評論、小説の奥深さを学び、言葉や表現を更に高めましょう。
- 2、グループによる協議や文章の作成、発表など能動的に授業に参加しましょう。
- 3、提出物の期限は必ず守りましょう。また毎時の復習を必ず行い知識の定着を図りましょう。
- 4、学習習慣を確立させ、定期考査には計画を立てて取り組みましょう。

2 学習の到達目標

- ・近代以降の文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
- ・ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
- ・伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。
- ・言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深めることによって、論理的な思考力を育てる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 (学習活動への参加姿勢や態度、積極性) ・記述の確認 (ノート、学習プリント等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 (学習活動における発言内容や態度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述の確認 (ノート、学習プリント、自学自習課題等) ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 (学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認 (ノート、プリント) ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 (学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認 (ノート、学習プリント等) ・定期考査 ・小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	1. 随想	<p>【「新編現代文B」I部】</p> <p>随想を読んで、筆者の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取る。</p> <p>教材 「さくらさくらさくら」 俵万智</p>	○	◎		○		<p>a:教材に興味を持って接している。筆者が思い描く世界を理解しようとしている。</p> <p>b:与えられたテーマに対して自分の考えを積極的に言葉で発信している。</p> <p>d:文章全体の構成や展開を確かめ、筆者の主張や意見を理解している。</p>	<p>a:行動の観察 記述の確認</p> <p>b:行動の観察</p> <p>d:行動の観察 記述の確認 定期考査</p>
	3. 評論1	<p>【「新編現代文B」I部】</p> <p>評論を読んで、文章の構成、展開、要旨などを的確に捉える。</p> <p>挙げられている話題を関連付けて読み取る。</p> <p>教材 「「ふしぎ」ということ」 河合隼雄</p>	◎			○	○	<p>a:筆者の問題提起とその提起に対する考えを適切に理解しようとしている。</p> <p>d:論理の展開を正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解している。</p> <p>e:評論における難解な語句の意味や用法を的確に理解している。</p>	<p>a:行動の観察 記述の確認</p> <p>d:行動の観察 記述の確認 定期考査</p> <p>e:行動の観察 記述の確認 定期考査 小テスト</p>
	4. 詩歌	<p>【「新編現代文B」I部】</p> <p>詩歌を読んで、それぞれリズムや表現を味わい、作品に託された幻想的なイメージを通じて、作者の心情を考える。</p> <p>教材 「一つのメルヘン」 中原中也</p>	○			○	◎	<p>a:情景、人物、心情など作者がどう描こうとしているかを捉えその象徴、効果に気付こうとする。</p> <p>d:情景やその展開を正確に理解している。</p> <p>e:中原中也の詩における修辞技巧や言葉の使い方を的確に理解している。</p>	<p>a:行動の観察 記述の確認</p> <p>d:行動の観察 記述の確認 定期考査</p> <p>e:行動の観察 記述の確認 定期考査 小テスト</p>
	2. 小説1	<p>【「新編現代文B」I部】</p> <p>小説に描かれた時代背景を想像しつつ、登場人物の人間関係とその心情を読み取る。</p> <p>教材 「ナイン」 井上ひさし</p>	○	◎		○		<p>a:作品の人物構成を理解し、主な人物の過去と現在の状況を踏まえて、理解している。</p> <p>b:「わたし」を通して作者が伝えようとしたことを読み取り話し合っている。。</p> <p>d:作中の時間の経過を理解し、登場人物の「当時」と「今」の変化を読み取る。</p>	<p>a:行動の観察 記述の確認</p> <p>b:行動の観察</p> <p>d:行動の観察 記述の確認 定期考査</p>

2学期	5. 小説2	【「新編現代文B」I部】 寓話的な話のおもしろさを味わい、その主題と構想を理解する。 教材 「山椒魚」 井伏鱒二	○			◎	○	a: 作者の主人公に込めた思いや主題を捉え、作品に思いをはせている。 d: 山椒魚の置かれた状況と心理状態を的確に把握し、理解している。 e: 語句の意味や用法を的確に理解している。また、小説における比喩や象徴的な表現も理解している。	a: 行動の観察 記述の確認 d: 行動の観察 記述の確認 定期考査 e: 行動の観察 記述の確認 定期考査 小テスト
	6. 評論2	【「新編現代文B」I部】 表現に注意して読み、提示された問題を的確に理解する。また、文章の構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考える。 教材 「安心について」 廣淵升彦			○	◎	○	c: 筆者の考えに対する自分の意見を論理的にまとめている。 d: 安心について述べる筆者の論理の展開を読み取り、本文の要点と抽象的な概念を理解している。 e: 評論における抽象的な語句の意味や用法を的確に理解している。	c: 記述の確認 定期考査 d: 行動の観察 記述の確認 定期考査 e: 行動の観察 記述の確認 定期考査 小テスト
	8. 働くよるこび	【「新編現代文B」I部】 さまざまな観点から書かれた働く人の文章を読んで、働くことについて考えを深めよう。 教材 「楽に働くこと、楽しく働くこと」 小関智弘	○	◎		○		a: 「働くこと」について関心、興味を持っている。 b: 「働くこと」について考え、考察したことを、話し合っている。 d: 取り上げられている事柄と本文の概略をつかみ、「楽に働くこと、楽しく働くこと」の意味を考察し理解している。	a: 行動の観察 記述の確認 b: 行動の観察 d: 行動の観察 記述の確認 定期考査
	3. 評論1	【「新編現代文B」I部】 評論を読んで、文章の構成、展開、要旨などを的確に捉える。論の展開に注意して、筆者の考えを読み取り、生命の特徴や不思議さを考える。 教材 「生命とは何か」 長沼毅	○	○		◎		a: 筆者の問題提起とその提起に対する考えを適切に理解しようとしている。 b: 生命の不思議さについて、具体例を挙げながら話し合っている。 d: 論理の展開を正確に読み取り、本文の要点、筆者の主張や意見を理解している。	a: 行動の観察 記述の確認 b: 行動の観察 d: 行動の観察 記述の確認 定期考査

3 学 期	7. 小 説 3	<p>【「新編現代文B」I部】</p> <p>小説を読んで、場面の展開や人物の性格・心理の描写を読み取る。人間関係における人物の心情を的確に把握し、人の心のありようについて考えを深める。</p> <p>教材 「こころ」 夏目漱石</p>	○			◎	○	<p>a: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉えようとしている。</p> <p>d: 物語の展開と登場人物の心理と人間性を的確読み取っている。</p> <p>e: 明治時代の風俗を示す語句の意味や用法を的確に理解している。</p>	<p>a: 行動の観察 記述の確認</p> <p>d: 行動の観察 記述の確認 定期考査</p> <p>e: 行動の観察 記述の確認 定期考査 小テスト</p>
-------------	-------------------	--	---	--	--	---	---	--	--

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力

d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○、主とするものに◎を付けている。